

事業名

秋篠川共同体事業

目標

地域でつなぐ 子育てのWA～「共に 学びあい 育てあい」～

1. 取組の視点

校区を横断する秋篠川を機軸に、地域に根ざした学校支援活動をより深めるために、秋篠川にホテルをもどす「ホテルの里プロジェクト」、広報活動の充実を目指した「ホテルフェスタ」、校区学校園の連携強化のための「地域合同教育講演会」を主催し、また、中1ギャップの解消を図るために、本協議会が主催するクラブ（英会話・ゴルフ・テニス）活動を小中合同開催で試みました。

2. 取組の概要

まず、「ホテルの里プロジェクト」は、2年目を迎えましたが、飼育拠点校の中学校が耐震工事と



なり、夏季休暇中に一時避難した飼育設備が暑さに耐えられずサンプルの幼虫が死滅し、失敗に終わりました。改めて、次年度秋篠川固有の平家ポータルを採取し、各校園に飼育設備を整えリスク回避を想定した取組にしたい。

7月1日開催の「第1回ホテルフェスタ」は、前述の「ホテルの里プロジェクト」を中心にすえた、本協議会の広報活動の一環として実施しました。ホテルの生態講座を始め、中学校の吹奏楽部や卒業生のプラスバンドグループ「YSK」のコンサート。綿菓子・焼きそば、クラフトワークショップなど14に及ぶ模擬店を展開しました。あいにくの大雨にもかかわらず、校区内外から350名を超える来場者があり、アンケートでも概ね好評を得た結果となりました。

8月24日開催の「第1回地域合同教育講演会」は、午前中は、中学校がすすめる「協同的な学びで、すべての生徒に学ぶよろこびを」をテー

マに安心・安全な学校づくりを推進する実践発表を著名な講師を招き住民とともに研修しました。午後は、校区のすべての教員による情報交換の場を持つことができました。いずれも初めての開催で、多くの課題も含むものの、実質的に幼・小・中9年間を見通した教育環境づくりへのきっかけを提供する取組となりました。

最後に、クラブ活動支援では、土曜英会話講座（イングリッシュ・カフェ）は、延べ13回小中あわせて143



名参加、ゴルフは11回48名、テニスは17回136名の参加を数えることとなり、保護者への啓発に大いに効果がありました。

3. 成果と課題

①上述以外にも、中学校サマースクールに14名の講師を招き、4日間述べ170名の生徒と真剣に取り組むことができました。環境整備や子どもの安全見守り、学習支援（読み聞かせ・図書館整備・教科助手等）活動は、従来の活動団体の積極的な支援に加え充実してきており、校園にとっては、なくてはならない活動となりつつあります。



②地域の子どもたちの健全育成を11年間見通して、途切れることなく提供できるような支援のあり方を今後とも考えていきたいです。



事業名

学び合い・主体的に生きていく生徒の育成

目 標

計画的な研修により、授業改善を行うと共に、諸行事を通して主体性を養う。また、地域の組織力を活用して多くの体験活動を行う。

1. 取組の視点

地域教育協議会との協働による研究授業・研究協議を通して授業改善を図り「学びの共同体」の授業形態を推進することで教員の教育力を高めます。そのためにも、すべての教員の授業を公開し、学校ホームページにも紹介して地域、保護者だけでなく多くの方々のご批評を受けました。

地域との連携を進め地域の教育力を学校教育に生かすとともに、地域の活動にも積極的に参加することで、地域と共に生きる学校・生徒を目指しています。

2. 取組の概要

授業改善において、市内の中学校、先進校視察（7月に三重教育大学附属中学校、11月に小牧市立応時中学校、1月に東大阪市金岡中学校）7月に大津の研修会、8月に伊東の研修会で研究協議や講演会に参加しました、「学びの共同体」についての理解を深める。また、年3回、スーパーバイザーを招聘して公開授業研究会（毎回数十名他府県からも参加）を行い、多くの方々のご批評を受けることで教員の教育力の向上を図っています。



また、質の高い集団づくりを目指し、生徒会が中心になって生徒総会で決まった年間スローガンの垂れ幕を製作し校舎の壁面に飾り、全校がこの目標に向かって行動しています。リーダー育成のため生徒会が中心になってリーダー研修会を年間

2回（5日）実施しています。前向きな学校の雰囲気をつくり、生徒が自ら考え、行動する生徒会を目指し、まず生活の中の様々な場面での話し合いの仕方に重点を置いて取り組み、行事にも力を発揮しました。また防災訓練を想定し、最終日に炊き出し実習を地域の方々と共に行うことで、リーダーとしてのつながりを持ちました。

地域の環境整備のためのクリーン作戦や秋篠川清掃活動のほか、地域教育協議会主催のホタルフェスタの会場校として、学校を開放し、吹奏楽部が演奏するなど、1日を通して地域、保護者、幼、小、中、さらには社会で活躍する卒業生とも交流を持ちました。



3. 成果と課題

・「学びの共同体」システムを導入して4年目になりますが、先進校視察・公開授業・授業検討会等を推進することで、生徒自身が「学び」を実感する授業が展開されてきており、今後も継続していくことが大切です。

・地域教育協議会を核として、校区合同教育講演会を行うことで地域、幼、小、中の連携を図りました。

さらに、幼小中11年間を見通した一貫性のある教育のあり方を追究したいです。



事業名

地域で子どもをはぐくみ、子どもで地域がつながる

目 標

子どもたちをはぐくみ、地域や保護者で子どもたちを温かく包み込みながら見守る活動を通して地域全体が繋がっていくことを目標とする。

1. 取組の視点

学校・家庭・地域が連携協力し、子どもたちが将来に夢を持ち、安全に伸び伸びと成長できるような教育環境の整った学校・近隣のコミュニケーションづくりを目指しています。学習支援や見守



り活動・環境整備といった様々な形で保護者や地域の方々の協力・支援により、学校の活動が安全で円滑な活動

を行うことができます。また、活動の中で、子どもたちと保護者や地域の方々がふれあい、言葉を交わす機会が増え、子どもと保護者や地域の方々とのつながりが自然と深まり、学校外でも積極的に地域との関わりを持つようとする場面も多く見られるようになりました。このような、活動を積み上げることで、子どもたちが地域の中でしっかりと存在し、地域のつながりが深まっていくものと考えます。

2. 取組の概要

学校の年間計画の中で、支援体制が整い、学校と支援者との連絡調整も円滑に行えることで、しっかりと連携できました。

学習支援活動では、毎月の図書館支援・低学年の生活科における活動の補助など子どもたちの学習を支え



る活動や学習環境の整備をすることができまし。入学間もない新一年生の下校の引率や「西部図書館へ行こう」・校外学習の補助など、学校だけではできない部分を協力してもらうことにより、行事や活動が円滑に進みました。様々な場面で、子どもたちは地域の方々と関わりを持つことにより、学校内だけではなく、地域の中で、親しみを持って地域と関わりをもったり、幼稚園・保育園との交流をしたりして 地域とのつながりを深



めることができました。

学校内の環境整備には、PTA・地域と共に協力して取り組むことができ、校内環

境美化を推進することができました。二年前に中庭に穴を掘るところから始めたビオトープ作りも、ポンプで水を循環することができるようになり、子どもたちで石を並べ、水辺の植物を植え、魚を放し、ようやく子どもたちが楽しそうにのぞきこむことができる池が完成しました。また、中庭の草を刈ったり、花壇やプランターに花を植えたり、池を中心とした環境づくりを行いました。講師を招いて、ビオトープの環境学習や校内の自然を生かしたネイチャーゲームを行うなど、自然の大切さや命の尊さを考えさせるきっかけとすることができました。

はぐくみ活動の一環として行った「親子で星をみよう」では、たくさんの保護者・子どもの参加がありました。星の話や楽しい実験をした後、それまで空を覆っていた雲がさっと晴れて、すがたをあらわした土星の輪を、はっきりと望遠鏡で見ることができ、みんな大感激でした。大人も子どもも地域が一体になって楽しく過ごすことができたひと時でした。



3. 成果と課題

学校の年間計画にそって、常に多くのボランティアスタッフが活動に参加してできる体制を整えてくださっており、子どもたちのことをよく考えて、協力的な活動をしていただき、活動も充実し、スムーズに行うことができました。今年度は、今まで以上に、PTAも地域行事に積極的に参加するなど連携を深めることができました。今後は、PTAとの関わりを一層進め、さらに一般の保護者の参加を増やしていく必要があります。

事業名

やさしさ発見 やさしさ実感プラン

目 標

児童の活動意欲と互いに慈しみ合う優しさの醸成

1 取組の視点

本校児童は明るく元気ですが、自分の気持ちや感情の表現が未熟なために、人間関係をうまく築けず、少人数のなかよしグループを形成する傾向が見受けられます。時にはいじめたり嘲笑したりといった課題が深刻化することもありました。

そこで、芝生広場や水生生物コーナーを学校環境として整備するとともに、学校図書館の環境をも整えることによって豊かな情操を育み、児童の心に慈しみ合う気持ちを培いたいと考えました。また、児童の身近に生き物の存在する環境をつくり、責任感や自尊感情を育むとともに、命について考える場としたいです。このような環境づくりを通して豊かな心の育成をめざしていきたい。

2 取組の概要

- **芸術鑑賞会**：地域教育協議会とPTAの支援により、芸術鑑賞会「ひげのごん太のひげさわぎ」を実施しました。今回で2年目となり、本校児童だけでなく平城西幼稚園児、保護者や地域の方々にも声かけを行い、みんなで一緒に楽しいひと時を過ごし、心に残る鑑賞会となりました。
- **平城西水族館**：児童昇降口前に、水槽を並べて、水生生物を飼育しています。毎日観察しながら会話する児童の姿があります。昨年度より「ニッポンバラタナゴ」の里親となり、環境学習に取り組む4年生を中心に、全校で見守り飼育しています。夏には稚魚も誕生し、その姿を全校で紹介することができました。
- **読書環境の整備**：学校図書館の環境整備事業として、学校図書管理システムをリニューアルし、貸し出し作業がスムーズに行えるようになりました。また、保護者・地域のボランティアによるブックーシールかけと蔵書補修やボランティアによる各学級での本の読

み聞かせも継続実施でき、活動として定着してきました。また、PTAのベルマーク運動で図書を購入していただき、蔵書も少しずつ増えて充実してきています。

- **出前授業**：低学年は命の学習・工作・秋篠川遊び、中学年は地域・環境学習等を中心に様々な出前授業に取り組みまし。特に、初めて実施した3年生の書写学習は、回を重ねる度に集中力の高まりが見られ、毛筆書写に自信を持つ児童が増えてきました。



3 成果と課題

- ・芝生広場や平城西水族館は、維持管理を継続中です。4年生は秋篠川や校区のクリーン作戦に取り組み、地域とのかかわりの中で学習活動を展開することができました。
- ・読書環境が徐々に整い、読書への関心が高められました。朝の読書活動も定着してきています。
- ・水族館の設置と読書環境の充実は、児童の情操教育に役立っています。
- ・生活科や総合的な学習の時間における出前授業の回数が増え、児童の学習活動に対する意欲を高めることができました。今後も「本物に出会う」機会を大切にしていきたいです。



事業名

みんなあつまれ つるまいなかよしっ子

目標

地域の子どもは地域でつながる

1. 取組の視点

地域の子どもは地域にある幼稚園を中心に近隣幼稚園や小学校との交流・連携をすすめ、活動の場を広げています。一人一人が安定して遊べる環境の確保と共に友達とかかわれる場や機会がもてるような環境の工夫をしています。また、未就園児なかよし組と活動の幅を広げています。在園児親子や未就園児親子が子育ての相談でつながりを深め、園と家庭と地域が連携して交流を重ねていきます。

2. 取組の概要

地域の子どもは地域でつながることを目標に、幼稚園・小学校との連携を図り、未就園児を含めた地域ふれあい活動も三年目になりました。園内環境の見直しを図り、ゲストティーチャーを招き、園庭の花壇や畑での栽培活動を通して世話、収穫、食べる喜びを味わいました。豊かな感性が育ち、自分の思いを表出し、自己実現する力も培うことができました。園内作品展では、親子で作品を見てもらい、作った過程を話したり、自分の作った作品を説明したりと楽しいひと時を過ごすことができました。



小学校との連携では年間計画を立て、小学1・2年生と手をつないで大洲池公園に園外保育に出かけました。地域のボランティアの方が見守るなか、安全に遊ぶことができました。クリスマスランドに参加してお兄さんお姉さんと一緒に遊び、触れ合いを楽しむことができました。幼稚園児がスムーズに小学校生活に入れるよう交流を重ねてきました。小学生の優しさに接し、滑らかな接続へつながる一歩となりました。未就園児は年間計画のもと、親子で在園児と交流をして一緒に遊び、幼稚園生活を知ってもらいたい機会とな

っています。音楽鑑賞会では大学生のお兄さんお姉さんに吹奏楽を演奏してもらいました。知っている歌をロズさんだり、手拍子を打ったりして楽しい体験ができました。ふれあい観劇会では未就園児・地域の方を招き、人形劇『じごくのそうべい』を鑑賞しました。ピアノコンサートでは、知っている曲や歌をピアノ連弾で聞くことができました。きれいな音色に園児は聴き入っていました。



柔道教室・お話の会・音楽紙芝居と地域の方々と身近な環境にかかわり、感動体験が積み重ねられました。講師の先生を招いた親子体操では、親子で一緒に身体を動かす楽しさを味わうことができました。今後も楽しんで体力づくりができるよう努めていきたいです。人とのかかわりを通して、人の優しさや温かさに触れ、身近な人への親しみや信頼の気持ちが育ってきています。



3. 成果と課題

園児たちはたくさんの友達や地域の方と交流することができました。いろいろな人との触れ合いや交流を計画的、継続的に積み上げてきたことで、幼児の生活の幅を広げ、豊かな心に触れ、人とかかわる喜びや楽しさを味わい、感動体験を共有することができました。いろいろな遊びに親しみ体験を通して、幼児の心が豊かになり、意欲的に活動する姿につながりました。今後も小学校や地域との交流を計画的に位置づけていきたいです。

事業名

みんなでつくろう楽しい幼稚園

目標

地域の教育力を生かし、様々な体験を通して豊かな心と健やかな体を育てる
親子・地域が共に楽しめる園づくり**1. 取組の視点**

自然環境の減少や核家族化、生活が便利になったことで、自然体験、体を動かすことや様々な人とかかわる機会が減少し、体力やコミュニケーション力の低下、実体験不足などの姿が見られます。また、孤立した環境での子育てが増えているため、子育てについて不安を感じておられる保護者も多く見られます。本園では5つの視点から、地域の方々の協力をいただき、様々な体験をする中で、幼児の豊かな心と健やかな体育で、保護者に向けた子育て支援を目指し取組を推進してきました。

2. 取組の概要**○地域の様々な人との交流**

未就園児いちご組・一年生・地域の方との昔遊び・ふれあい秋篠の高齢者の方など、様々な人との温かな心の交流を通して、親しみの気持ち、優しさや思いやり、感謝の心が育ってきています。

**○幼児の体力向上**

「体を動かすことが好きな子に」を目標に、ゲストティーチャーを招き、未就園児や保護者を巻き込んだ体操教室や運動遊びと講演会を実施しました。バランスボールやラダー、鉄棒や平均台などを取り入れ、多様な動きが身に付けられるようにしてきました。子どもたちの生き生きとした姿や保育参加を通して「子どもが楽しんで体を動かしている姿に感動した。親子で意識して体を動かすようになった」という保護者の声が聞かれ、体力向上への意識が高まりました。

**○親子で楽しめる感動****体験の積み重ね**

お話会、腹話術、動くダンボールアート、音楽鑑賞会（大正琴・ピアノと三線）人形劇観賞、地域の方の協力による「自然と遊ぼう」親子栽培活動などを実施しました。自然や本物に触れ、感動体験を積み重ねることで、子どもたちの感性が磨かれると共に、表現の世界が広がりました。

**○子育て支援の充実**

未就園児いちご組の内容の充実、保護者向けの講座（年5回）を開催しました。地域の方を講師に迎えたり、講座に参加していただいたりする中で、子育てについてのアドバイスをいただき、地域の方と保護者が繋がる場となりました。また学校評議員の方の協力で、講座に参加の小さいお子さんの見守りもしていただき、保護者から地域の方への感謝の声がたくさん聞かれました。

○園内の環境整備・保育環境の充実

地域の方や保護者の協力を得て、園内の環境整備をしました。また、運動用具の充実やたくさんの絵本と出会うよう、絵本の充実に努めました。保護者ボランティア協力のもと絵本の整理、分類、ブックカバーかけなどを行い、子どもたちはいろいろなお話に親しむことができました。

3 成果と課題

今年度も多くの保護者や地域の方々からの園に対する協力をいただきました。また、地域の教育力により、親子とも心に残る体験を積み重ねることができ、幼児の豊かな心と健やかな体育で繋がりました。今後も園と地域が協同して園の活性化を図り、地域の実態に応じた特色ある取組を展開しながら、「地域で子どもを育てる」体制づくりを推進していきたいと思っております。